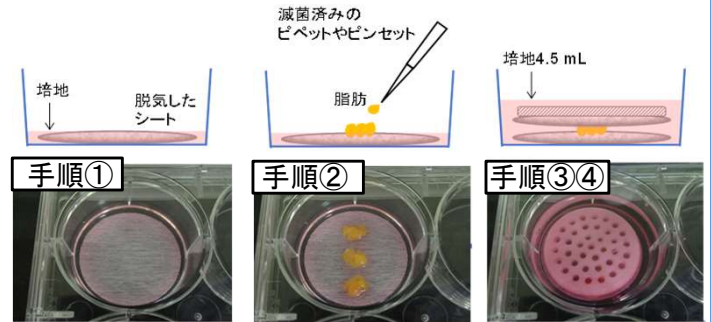


◆ヒト脂肪組織播種の手順(φ32mmシート使用例)

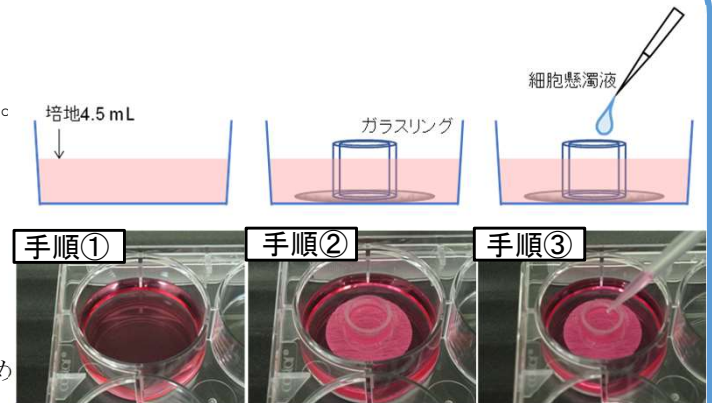
1. 6ウェルプレートウェルの底に薄く液膜が張る程度の培地を加え、上からシートを入れる。
2. シートに脂肪組織を置く。
右図で使用しているφ32mmのシートでは組織量0.15g(0.05g×3片)を推奨しています。
3. 組織の上からもう一枚のシートをかぶせ、さらに重しとして滅菌したガラス目皿を乗せる。
4. 目皿が完全に浸るように4.5mlの培地を加える。
5. 2-4日毎に培地を全量交換する。



*シートや目皿、細胞懸濁液を扱うときはコンタミネーションを防ぐために、滅菌済みのピンセットやピペット等を使用すること。

◆細胞播種の手順(φ23mmシート使用例)

1. 6ウェルプレートの各ウェルに4.5mlずつ培地を入れる。
2. 培地中にシートを1枚沈め、上からガラスリングを乗せる。
3. ガラスリング内へ細胞懸濁液を入れ播種する。
4. 24時間後、ガラスリングを取り外す。
5. 2-4日毎に培地を全量交換する。



*シートや目皿、細胞懸濁液を扱うときはコンタミネーションを防ぐために、滅菌済みのピンセットやピペット等を使用すること。

◆製品情報

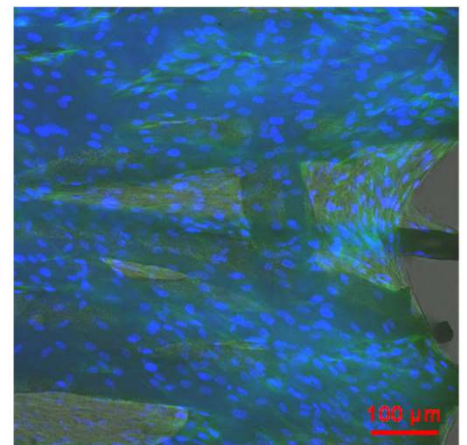
6ウェルプレート10枚から 1.20×10^8 個の細胞が取得可能です。
(ヒト脂肪組織合計9gを不織布上に播種し、34日間培養)

ヒト脂肪幹細胞特有のポジティブマーカー(CD29, CD44, CD90)とネガティブマーカー(CD34, CD45)も確認しています。

詳しい実施例は下記URLまでアクセスをお願いします。

<https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/admi.202101776>

H. Sunami et al. Rapid Stem Cell Extraction and Culture Device for Regenerative Therapy Using Biodegradable Nonwoven Fabrics with Strongly Oriented Fibers *Advanced Materials Interfaces*. 2022, vol.9, 2101776, p1-12



ヒト歯髄組織を播種して培養したシートの蛍光観察画像
青:核, 緑:F-アクチン